

# きらめき 2025 No.83 2月号

発行：阪神医療生活協同組合  
小中島支部編集委員会

## 香美町から雪がやってくるぞ〜 ふるさと雪まつり開催

第31回ふるさと雪まつりが開催されます。今回も限定200杯のカニ汁や香美町の物産販売、いろんな模擬店、それと缶バッジがあります。皆さん、お越しください。

日時：2月11日（祝）10時～14時  
会場：丸橋公園（尼崎市口田中1丁目）



- 10:00 開会
- 10:20 未来太鼓道場（和太鼓）
- 11:15 園田中学校吹奏楽部
- 12:00 双星高等学校吹奏楽部
- 14:00 閉会

## 2025年

### 小中島支部 お花見



日時 4月5日（土）12時～14時  
場所 若王寺公園  
持ち物 お弁当・飲み物・敷物

お友達も誘って一緒に楽しみましょう  
豪華賞品付きのゲーム大会や  
他にもプレゼントがあるかも！？

### ご近所の子犬を紹介します。

12歳のメスのマルチーズです。名前はコマリ（小穂）です。若王寺3丁目に住んでいます。脊椎軟化症のため後ろ足が不自由なので自分では歩けません。後ろ足には車椅子を使っていますので、元気に動きまわることが出来ます。よく散歩に出かけていますので、見かけた方はお声がけください。走って近寄って行きますが、噛みませんので。



皆様へ ニュースの手配りの為の折り込みは偶数月の第一金曜の午後2時からきらめきセンターで行っています。ご協力をお願いします。

フレンドリーより利用者の皆様へ

コーヒー豆が値上がりしていますが、コーヒーは100円のままです。

## 希望に一步でも近づける年に

小中島支部長 松上辰之

明けましておめでとうございます。

今年には阪神淡路大震災から30年にあたります。震災時、救援された人々の80%（2万7千人）が家族や近所の住民によって助けられました。消防、警察、自衛隊の活動で救われた人々は20%（8千人）でした。教訓として近所の人々との繋がりがいかに大切かを教えられました。阪神淡路大震災のちも、新潟県中越地震、東日本大震災、能登半島地震と続いています。いっどこで震災に会うかわかりません。阪神医療生協の活動は言ってみれば近所の助け合い、地域住民の支えあいの活動です。さらに阪神医療生協の活動を広げていきたいと思っています。

昨年の兵庫県知事選挙はSNS、選挙制度等多くの課題を残す結果になりました。国会は少数与党と多党化で今後どうなるのか先が見えない状況です。ウクライナ、パレスチナの戦争も終息の気配もなく多くの人々が殺され続けています。生きやすい社会、平和な社会を目指す私たちが取り組まなければならない課題は多くあります。皆様と共に進みたいと思います。今年一年が皆さんの希望に一步でも近づく年になることを願っています。



## 阪神・淡路大震災30年 災害からの復興・生活再建を考える

阪神・淡路大震災から30年目に当たる1月17日、小田南生涯学習プラザで、阪神・淡路大震災や東日本大震災で被災し、復興住宅の自治やボランティア活動に関わった方々の記念講演会が市と阪神医療医師協との共催事業として開催されました。災害発生後、特に大切になる地域とのつながり方などを一緒に考える場で、50人近くの方が聴講に來られました。市報の1月号でも紹介されていたので一般の方も来ておられたかと思えます。立場と視点の異なる4の方が資料やスクリーンを使って特徴のある説明をされました。気仙沼市震災復興・企画部長さんの「気仙沼を創るまちづくり×復興」では「ひとを中心とした町づくり」の重要性を、坂本敬子さんの「仮設でのふれあいセンター運営」ではボランティアとして必要なのは「たんぼぼ魂」の根強さだと、飯田浩さんの「山陽新幹線はなぜ壊れた」では「なぜ高架橋だけ壊れたのか？」と、それと市職員さんの「尼崎と気仙沼の高校生/地域住民と防災を考える」では「不慣れな環境を作らない。地域が違っても防災は重要だ」等々。どれも説得力のある内容の講演でした。（支部委員・富松）

## 支部新年会 開催

成人の日の1月13日(日)11時から新年会をきらめきセンターで開催し、40人近くの方が出席されました。今年は非常に内容に趣向を凝らしたものが多くて、変わった出し物が色々あり、皆さん楽しめました。

お正月らしく大正琴の華やかな調べで始まり、職員紹介や挨拶の後、すぐ前のお店の御膳による早めの昼食に入った後、各種演芸大会が始まりました。4人の方のウクレレ演奏の後、松井泰子さんの指導による出来そうで出来ない高齢者向けの認知症予防体操、職員さん



二人による袖に手を通さず羽織を着た人の後ろから、もう一人が羽織の中に入って袖に手を通し、何かを食べさせたりして、見当違いの動きを楽しむ「二人羽織」、お子さんによるルービックキューブ早業攻略、それとやさしそうで難しい西島由美子さんの逆さ言葉ゲームなどなど。2時間の非常に楽しい新年会でしたが会場の都合で40人程しか参加できませんでした。他の支部は多くの人たちの参加で開かれていたため、来年からは

支部としてはもう少し広い会場を使用するものにしようという意見が出ました。すぐ近くの地区の会館の使用を検討することになりそうです。(事務局)



## 診療所の新人の小宮さんの自己紹介です

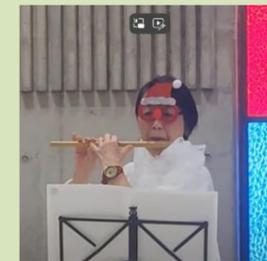
初めまして。昨年4月から新社会人として小中島診療所外来リハビリに入職しました小宮弦輝といいます。今年の4月で入職から1年が経つのでご存じの方もいらっしゃるかと思いますが、この場をお借りして改めて自己紹介させていただきます。

私は大阪生まれ大阪育ちで、今も大阪に住んでいるので普段は1時間かけて通勤しています。通勤中は好きな音楽を聴いたり、アニメやスポーツニュースを見たりしています。入職から約1年経ちましたのでお仕事にも慣れ、過度に緊張せずリハビリに努めることができていると思います。しかし、慣れてきた時ほどミスしてしまうものと思うので、より一層気を引き締めてよりよい一人ひとりに合わせたリハビリを患者様に提供できるよう、日々、勉強して仕事に励みたいと思います。まだまだ力不足ではありますが、これからよろしくお願いたします。



## みんなのクリスマス発表会

昨年が続いての集まりです。今回は昨年以上の人たちが参加しました。2部構成で1部はピアノ教室の子供たちやピアノの先生の演奏。2部は大人の人たちで楽器はピアノ、ウクレレ、サクソ、ギター、それと誰もが初めて見る日本の伝統的な横笛の「篠笛」など多種で、演目は全体で15。歌あり演奏あり、ゴスペルもあり、それとサンタさんの登場もあり参加者、来場者にとっても本当に楽しい2時間でした。今年も最後に参加者全員でジングルベルを大合唱。小中島支部のベテラン職員さん、OB職員や組合員さん達の演奏がみられました。(来場者)



## ご存知ですか？“田能の里芋”

尼崎の伝統野菜には「武庫一寸」(むこいっすん)、「富松一寸豆」(とまついっすんまめ)というソラマメと「尼蓆」(あまいも)というサツマイモ、それと「田能の里芋」があります。

昨年12月5日(木)小園小3年生4クラス約130人がその「田能の里芋」ほりに出かけました。場所は神崎町22-21の「神崎ファーム」。お手伝いは皆で6人。学校を9時45分に出発し、山幹道路沿いをきっちり歩いて10時ちょうどに畑に到着。即いつも指導をいただいている内田さんの説明を受け、芋ほりスタート。里芋には親芋、子芋そして孫芋と3種類があり、一つの親芋に子芋、孫芋がたくさんくっついているため引っ張ってもナカナカ地面から抜き出せません。でも皆で別れて工具も併用し畝全体に埋まっていた里芋群を約30分でほとんどすべてを抜き出すことが出来ました。早く終わった子はお手伝いもしていました。予定より早く終わり皆ほっとしていました。お土産に子芋を袋に入れてもらい、皆学校に戻りました。子どもたち、皆頑張りました。(お手伝い)

